

平成30年度 さとに保育園事業計画

1. 園児数 (定員 150名) 4月2日現在

年 齢	0 歳	1 歳	2 歳	3 歳	4 歳	5 歳	合 計
人 数	10	30	29	34	31	31	165

要配慮児 / 70

該当1名 該当1名

要観察1名

2. 職員数

職 種	園 長	副園長	主任保士	保育士	栄養士	調理員	事 務	育 休	計
人 数	1	1	1	25	1	3	1	(2)	36
正 職		1	1	23	1		1	(1)	18
嘱 託	1			1					2
パート				1		3			4

3. 保育理念

○愛がいっぱい 笑顔あふれる保育園

4. 保育方針

○常に利用者の立場に立ってニーズに応え、サービスの向上に努めます

○一人一人の人格を尊重し、互いの信頼関係をよりよく構築します

○地域・自然・人とのかかわりの中で豊かな人間性の育成をめざします

5. めざす子ども像

○明るく活発で元気な子ども

○親切で友達と仲良くする子ども

○よく考えて行動する子ども

6. 研究テーマ (予定)

“自分を表現し いきいきと遊びきる子ども”

～自発的に遊ぶための環境づくり～

7. 期待する職員像

○日々の保育を大切にする職員

○礼節をわかまえる 笑顔・思いやり・挨拶

○職員相互がお互いに学び合う姿勢・感性を持つ

○保護者への尊敬の念を持つ・車の両輪となって保護者とともにしつけのできる保育士集団

8 具体的な取り組み

- 保育所保育指針の改訂に伴う全体的な計画の策定
 - 「育てたい10の姿」「延長保育全体計画」養護と教育の一体的な保育
- 乳児保育・3歳未満児の養育の充実
- 研究テーマを大切にしながら日々の保育の充実 年1回の鳥大の先生の指導助言
- 研修の体系化
- 子どもの体作り
 - 柔軟体操
 - 体育指導の充実
 - 基本的な生活習慣の大切さを伝える（食育の充実・講演会・園だより）
- 支援センターと地域との交流の在り方の模索（地域の祖母層とのつながり）
- 主体的に遊べる保育環境の工夫
- 子育て支援の充実
- 異年齢交流保育
- 保護者懇談会の持ち方

9. 人事考課の着目点

- さとに会の理念や保育目標の確認をしたうえで職員一人ひとりが年間の目標を定める。相互認識・相互理解を深め職場の活性化を図る。
- 上司と部下の積極的な対話を通して、信頼関係の醸成と、自分の仕事や役割も明確にする。仕事に対する責任感や自己向上意欲も生まれ、労働意欲の向上を図る。
 - ①各個人の達成目標を知る（5月）
 - ②自己評価チェックリスト（9月・2月）
 - ③個別面談（年2回 6月・12月）

10. 平成30年度予算に関わる主な事業

- 大型遊具設置 着工 平成30年7月 完成予定
- 支援センターペンキ塗り 平成30年春

11. 平成30年度研修計画

- 職員の資質向上のためにさとに会での合同研修を実施する
 - 6月10日（日）
- 処遇改善加算Ⅱに対応する研修の充実・体系化・不足している研修は単園での実施も視野に

平成30年度研修計画

- 職員の資質向上のために積極的に研修会に参加する
 - 園長
 - 施設長研修会（年2回） 5月・11月 鳥取県育み協会主催
 - 公私立合同園長会 毎月1回 鳥取市こども家庭課

コンプライアンス研修

高草中校区連絡協議会（本年公開園）

□副園長

公立合同副園長会	毎月	鳥取市こども家庭課
私立保育園副園長部会	年3回	私保連
全国保育研究大会		
苦情受付担当者研修会		県社協
主任保育士研修会		県はぐくみ協会

□主任・保育士

障がい児保育研修会（年2回）		県はぐくみ協会
乳児保育研修会（年2回）		〃
食育研修会（年2回）		〃
かがやき実践公開保育		鳥取市こども家庭課
新任職員人権・同和保育研修		県はぐくみ協会
中国地区保育研究大会		
初任保育士研修会		〃
サマースクール研修会		
保育推進研究大会		県はぐくみ協会
特別支援研修会		
保幼小担当者研修会		
私保連主任・保育士研修部会（年2回）		私保連
実技研修（運動会・音楽）		
救急医療講習会		東部広域行政管理組合
アレルギー疾患研修会		

□栄養士・調理員

食中毒研修会		鳥取県
私保連食育研修部会（年2回）		私保連
ノロウイルス研修会		

□事務員

会計経理に関する研修		県社協
------------	--	-----

●園内研修を通して、全職員で共通理解をし一貫した保育を実践する

- 園内公開保育（全クラス）
- 園内公開保育（鳥大の教授による指導と研修・1回～2回）
- 園内研修（年3回） 発達について 講師による指導
- 研修報告会
- 第三者評価の指導による、マニュアルの作成

平成30年度 湖山保育園事業計画書

1. 園児数 (定員 170名)

年齢	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	合計
人数	5	25	24	34	32	32	152名

要観察数名

※0歳児途中入所希望有

平成30年3月8日現在

2. 職員数

平成30年4月1日

職種	園長	副園長	主任保育士	保育士	栄養士	調理員	看護師	補助支援	育休	計
人数	1	1	1	17		1		1	1	23
パート						2	1	3		6
合計	1	1	1	17		3	1	4	1	29

3. さとに会 保育理念

○愛がいっぱい 笑顔あふれる保育園

4. さとに会 保育基本方針

○常に利用者の立場に立って、保育の質の向上に努めます

○一人一人の人格を尊重し、互いの信頼関係のより良い形成を構築します

○地域、自然、人とのかかわりのなかで、豊かな人間形成の育成をめざします

5. さとに会のめざす子ども像

◎明るく活発で元気な子ども

◎親切で友だちと仲良くする子ども

◎よく考えて行動する子ども

6. 保育士として大切にしたい

○笑顔

○挨拶

○思いやり

○マナーとモラル

○気遣ができる

○人と接することとコミュニケーションをとる

30年度の研究テーマ

「 仲間とともにいきいきと遊ぶ子ども 」

～ 発達をふまえた環境構成の工夫 ～

～ 保育士の声掛けの工夫 ～

6. 具体的な取り組み

- 自然体験（園外保育・園庭の活動）
- 食育・菜園活動（食育…食べる喜びと食への関心を広げる）
- 異年齢交流保育（わくわくタイム）
- 外部講師による指導（3歳以上児）
 - ・音楽指導（基本を大切にしていく）
 - ・体育指導
 - ・英語指導
- 主体的に遊べる保育環境の工夫
- 地域・世帯間交流（祖父母との触れ合い）
- 子育て支援の充実
（その他の事業）
- 地域貢献（湖山公民館との交流検討）

7. 職員研修

- 園内公開保育を通して（保育の資質向上）
「鳥取大学地域学部 畑千鶴乃先生による勉強会」年2回
- 事例研究と職員連絡会（職員間で共通理解等）
- 各研修会参加
- 保育指針改定に基づいて全体的な計画の共有と育ってほしい10の姿の明確化
・長時間保育・安全保育・子育て支援計画等の計画作成

8. 人事考課の着目点

- 職員一人ひとりが何を目標としているか年間の目標等把握した上でさとに会の理念や保育目標の確認をする。その中で、相互認識・相互理解を深め職場の活性化をより良い方向に図る
- 上司と部下の積極的な対話を通して、信頼関係の構築に努める
- 自分の仕事や役割を明確化し仕事に対する責任感や自己向上意欲を育み働くことへの意欲向上を図る
 - ① 各個人の達成目標を立てる（年間目標）（5月）
 - ② 自己チェックリストを年2回とることにより、日々の保育現場において、自己の振り返りと自己研鑽に努め、保育の資質向上に繋げていく。（9月・2月）
 - ③ 個別面談をする（年2回 6月・12月頃）

8. 平成30年度予算にかかわる事業

【 器具備品（10万を超える固定資産） 】

- 園歌挿入画 遊戯室に掲示
(遊戯室の掲示する場と大きさ安全等考慮していく)

9. 平成30年度湖山保育園研修計画書

- 職員の資質向上のために積極的に研修会に参加する
- 処遇改善加算Ⅱに対応する研修を考慮し参加する

□園長

- ・公私立合同園長会（毎月） 主催 鳥取市児童家庭課
- ・施設長研修会（年2回） 5月・11月 主催 鳥取県育み協会

□副園長

- ・公私立合同副園長会（毎月） 主催 鳥取市児童家庭課
- ・主任保育士研修会 夏頃 主催 育み協会
- ・苦情受付担当者研修会 夏頃 主催 県社協
- ・私保連副園長研修部会(年3回) 主催 私保連
- ・東部地区幼稚園等の教員及び保育士合同研修会 主催 鳥取県
- ・幼保小接続の研修会 主催 鳥取県

□主任・保育士

- ・会主任保育士研修会 夏頃 主催 育み協会
- ・東部地区幼稚園等の教員及び保育士合同研修会 主催 育み協
- ・スキルアップ研修 主催 鳥取市
- ・鳥取市保育園職員研修会 主催 鳥取市
- ・人権、同和保育職員研修会 主催 鳥取市
- ・東部地区幼稚園等の教員及び保育士合同研修会 主催 鳥取県
- ・サマースクール 主催 日本幼年研究会
- ・運動会実技研修 主催 保育業者
- ・中国地区保育研究大会 主催 日本保育協会
- ・発達支援に関する研修会 主催 鳥取県
- ・かがやき実践講座 主催 鳥取市
- ・乳児保育研修会 主催 育み協会
- ・食育研修会 主催 育み協会
- ・初任保育士研修会 主催 育み協会

□栄養士・調理員

- ・食育研修会 主催 育み協会

- ・食中毒等衛生管理研修会 主催 鳥取県
- ・食物アレルギー食への対応等についての研修会 主催 鳥取県
- ・ノロウイルス研修会 主催 鳥取県
- ・私保連食育研修部会 主催 私保連

看護師

- ・感染症対応についての研修会 主催 鳥取県

さとに会職員合同研修会

研修報告会

平成30年度 大正保育園事業計画書

1. 園児数 (定員 130名)

年齢	0歳	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	合計
人数	8	19	27	31	30	28	143

該当児1名
てんかん疑い1名

該当児1名
てんかん1名

該当児3名

2. 職員数

職種	園長	副園長	職社	保育士	栄養士	調理員	保育支援員	計
人数	1	1	1	24	1	2	1	31
内パート人数				4		1		5

3. 保育理念

○愛がいっぱい 笑顔あふれる保育園

4. 保育基本方針

- 常に利用者の立場に立ってニーズに応え、保育の質の向上に努めます
- 一人一人の人格を尊重し、互いの信頼関係をより良く構築します
- 地域、自然、人とのかかわりのなかで、豊かな人間性の育成をめざします

5. めざす子ども像

- 明るく活発で元気な子ども
- 親切で友だちと仲良くする子ども
- よく考えて行動する子ども

6. 期待する職員像『笑顔・感謝・思いやり』

- 挨拶ができる＝基本的な生活習慣をしっかり身につける
- 礼節をわきまえる＝笑顔、感謝、思いやりを欠かさない
- 子ども、保護者、同僚、自分を大切にできる＝相手の立場に立って考え行動できる
- 愛着を持って人と関わることができる
- 感性豊かな心をもつ
- コミュニケーション能力を高める

7. [30年度の研究テーマ]

“いきいきとあそび ともに育ちあう子ども”

～やってみよう おもしろそうと感じる保育をめざして～

8. 具体的な取り組み

- 保育所保育指針改定に伴う、全体的な計画の作成
- 養護と教育の一体的な保育の展開
- 乳児保育、子育て支援の充実
- 身体づくり
 - ・外部講師による指導（体育教室・リトミック）
 - ・職員による指導（以上児、未満児に分かれての体であそぼう指導の充実）
 - ・組立て体操への取り組み
- あそびをつなぐ環境構成の工夫
- 食育、菜園活動
- 地域、世代間交流（児童館・公民館・町内敬老会・デイサービスきゅうだい）
- 保護者支援（誕生会招待・ほっと♥Heart）
- 防災対策（地域との連携、垂直避難の避難場所確保と避難訓練実施）

8. 人事考課の着目点

- さとに会の理念や保育目標を理解した上で、職員一人一人の目標や課題を共有・確認しながら、相互の理解・認識を深め職場の活性化を図る。
- 上司と部下の対話や関わりを通し、信頼関係の醸成と自分の仕事や役割を明確にする。その関係の中で、仕事への意欲や責任感を高めつつ労働意欲の向上を図る。
 - ① 年間の各個人の達成目標を立てる（5月）
 - ② 自己チェックリストを年間2回とることにより、日々の保育において自己の振り返りと自己研鑽に努め、保育の資質向上につなげる。（9月・2月）
 - ③ 個別面談を行なう（6月・12月）

9. 平成30年度予算にかかわる主な事業

科目	内容・品名	業者名	金額
器具及び備品	大太鼓（その他楽器）		300,000

10. 平成29年度大正保育園研修計画書

- 職員の資質向上のために積極的に研修会へ参加する。
- 保育所保育指針改定、完全実施に伴い幼児教育、子育て支援等の研修へ参加する。
- 処遇改善Ⅱにむけての研修参加
【別紙資料1参照】

【資料 1】

職名	研修名
園長	施設長研修会（年2回）5月・11月 公私立・認定こども園・地域型保育事業所合同園長会（毎月） 職場改善研修会 高草中学校区連絡協議会
副園長	公私立合同副園長会（毎月） 苦情受付担当者研修会 私保連副園長研修部会（年3回） 育み協会主任保育士研修会 東部地区幼稚園等の教員及び保育士合同研修会 幼保小接続に関わる研修会
主任保育士・保育士	育み協会主任保育士研修会 東部地区幼稚園等の教員及び保育士合同研修会 障がい児保育研修会（年2回） 乳児保育研修会（2回） 食育研修会（年2回） かがやき実践講座 新任職員人権・同和保育研修 中国地区保育研究大会 初任保育士研修会 サマースクール研修会 救急医療研修会 運動実技研修会 中国地区保育研究大会 特別支援研修会 子育て支援研修会
栄養士・調理員	育み協会食育研修会 食中毒等衛生管理研修会 ノロウイルス研修会 食物アレルギー食への対応等についての研修会 私立保育園給食部会研修
職員全員	園児・保護者の情報交換を行い、全職員が共通理解をもち保育に携わる。 ・園内公開保育（全クラス） ・園内研修会（年2回） 講師による指導 ・研修報告会 ・連絡会・勉強会（年4回） 講師による指導 ・さとに会職員合同研修会